

のうみ図書館



だよ!



第161号 平成30年3月1日

2月にあたらしく入った本

| | | |
|------------------------------|------------------------------|-------------|
| 小説 | 浅見光彦と七人の探偵たち | 内田 康夫ほか/著 |
| | 九十八歳になった私 | 橋本 治/著 |
| | 白磁海岸 | 高樹 のぶ子/著 |
| | 棲月 (隠蔽捜査 7) | 今野 敏/著 |
| | 玄鳥さりて | 葉室 麟/著 |
| 小説(文庫) | 銀河鉄道の父 (2017下半年期・直木賞受賞作) | 門井 慶喜/著 |
| | わが家は祇園(まち)の拝み屋さん 7 | 望月 麻衣/著 |
| | 银杏散る (ふるしき同心御用帳 2) | 伊川 香四郎/著 |
| | 口は災いの友 (ふるしき同心御用帳 3) | 〃 |
| | 花供養 (ふるしき同心御用帳 4) | 〃 |
| 情報科学 | 対決、示現流 (江戸家老塩谷隼人 2) | 牧 秀彦/著 |
| | なぞとき (く捕物)時代小説傑作選) | 和田 はつ子ほか/著 |
| | 図解でわかる14歳から知っておきたいAI | 太田出版/出版 |
| | 人生訓 魚を与えるのではなく、サカナの釣り方を教えよう | 浦田 健/著 |
| | 歴史 不死身の特攻兵 | 鴻上 尚史/著 |
| 伝記 | 誰も書かなかった日本史「その後」の謎大全 | 雑学総研/著 |
| | おかげさまで、注文の多い笹餅屋です | 桑田 ミサオ/著 |
| | 自分でできる!身内が亡くなった時の手続・事前の備え | 実業之日本社/出版 |
| | 社会 貧困の戦後史 | 岩田 正美/著 |
| | 数学 数学図鑑 | 黒澤 晃/著 |
| 医学 | 肩・腰・ひざの慢性痛は痛みの専門医ペインクリニックで治す | 永野 裕之/著 |
| | 会社や仕事につぶされない働き方・休み方 | 小林 賀寿恵/編著 |
| | 手芸 ちりめん戯縫(ざれしごと) | 茅嶋 康太郎/著 |
| | 女の子がときめく通園・通学バッグとこもの | 森島 民恵/著 |
| | フェルトで作るかわいい和のお飾り | リトルバード/編 |
| 料理 | ちょこっと下ごしらえで夜ラク!絶品ごはん | ブティック社/出版 |
| | 漬けものレシピ | 館野 鏡子/著 |
| | 野上さんちの超ラクチン弁当 | 重信 初江/監修 |
| | 作りおきなし!朝10分!考えないお弁当 | 野上 優佳子/著 |
| | 趣味 四季の野草リース | 重信 初江/著 |
| エッセイ | 辞典 広辞苑 第7版 | 辻 典子/著 |
| | ヨーコさんの“言葉” | 新村 出/編 |
| | 70代からの男の一人暮らし | 佐野 洋子/文 |
| | くらやみのゾウ | トンチン・カーン/著 |
| | ルーミー/原作 | ルーミー/原作 |
| 絵本 | 木はいいなあ | ユードリイ/作 |
| | すてきなロウソク | 長田 真作/著 |
| | たかのびょういんのでんちゃん | 菅野 博子/文・絵 |
| | すきなことのみつけかた | たかい よしかず/さく |
| | なんかおばけ | こちゃん/文 |
| よみもの | ママが10にん!! | 天野 慶/文 |
| | かもつせんのいちにち | 谷川 夏樹/さく |
| | 保健室の午後 | 赤川 次郎/著 |
| | 命のダイヤル | 〃 |
| | 西郷どん!まるごと絵本 | 東川 隆太郎/著 |
| プレゼントは魔法のほうき (見習い魔女ベラ・ドンナ 3) | ルース・サイムズ/作 | |

読んでみて!

『魚を与えるのではなく、サカナの釣り方を教えよう』

浦田 健/著
実業之日本社



お金は無くなること
があるけれど、「頭の中」にある「教え」は絶対になくならない。「成功は自分の心が決める」「運の良い人と付き合う」など、人生をより有意義に、そして幸せに過ごすための33の「教え」を伝える。

『くらやみのゾウ』
ルーミー/原作
ミナ・ジャバアービン/再話
ユージン・イェルチン/絵
山口文生/訳



遠いインドから、ふしぎな生きものをつれてきたアフリカ。くらやみの中で生きものに触れた村人たちは、「ヘビのようだ」「木のみきみたいだ」「まるで、うちわだ」と言い争い…。ペルシャのふるい詩をもとにしたゆかいなお話。

今月の行事予定

○おはなしレストラン

- ① 6日(火) “今年のBEST1”
- ② 20日(火) 語りを学ぶ
午前10時～11時30分

○アート

- 9日(金) 午前10時～12時
「人の12感覚を知る」

○カンガルーくらぶ

- 16日(金) 午前10時30分～11時30分
ママと赤ちゃんのおはなし会

○ふれあい広場

- 17日(土) 午後1時30分～
「おべんとづくり教室へようこそ!」
※わしくは中ページをご覧ください。

○ONLS (のうみライブラリーシンフォニー)

- 17日(土) 午後4時～6時

○読書会

- 23日(金) 午後1時30分～3時
※日程を変更しています。
オー・ヘンリー/著
『賢者の贈りもの』『最後のひと葉』を読んで

人形劇の あひる座 来館!



満員御礼

みんなで、人形劇の世界を楽しみました!



12日(月)～14日(水)は、
年度末整理のため休館します。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

○能美図書館○

開館 9時30分～19時
休館 木曜/祝日/月末整理日ほか
住所 江田島市能美町中町3374-12
電話 45-0075 FAX 45-0077
HP <http://www.library.etajima.hiroshima.jp/>



2月のふれあい広場に「人形劇のあひる座」がやってきました！

まずは、あひる座代表・中峠房江さんご自身の、戦争体験をもとにして作られた紙芝居『ふうちゃんのそら』を、中峠さんの声で語っていただきました。

続いて、お待ちかね『ぐりとぐら』の人形劇のはじまり。大掛かりな道具やライト・音響の効果で、子どもたちのテンションは上がりっぱなし！みんなのよく知っているおはなしが生き生きと動き出し、本当に楽しい時間でした。

知らない子や、年のちがう子でも、一緒になって笑って楽しめる時間でした。一緒に来ていたお母さんやおばあちゃんたちも、子どもたちの本当に楽しそうな顔に、目を細めていましたよ。

今回の催しは、国立江田島青少年交流の家の「広島・地域から『体験の風をおこそう』運動推進実行委員会」の共催により実現することができました。ありがとうございました。



特別整理期間に伴い、3月12日(月)～14日(水)の期間を休館いたします。

能美図書館では、3/12(月)～3/14(水)に所蔵資料の総点検を行います。すべての書架の資料のバーコードを読み取り、コンピュータのデータと照らし合わせ、不明になっている本や間違った場所に置かれた本がないかチェックしていきます。

休館中にご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、江田島図書館、大柿公民館図書室は開館しておりますので、ご利用ください。



展示 - 鈴木三重吉を偲んで -

三重吉は、明治15年9月29日広島市に生まれ、23歳のとき東大英文科に入学、夏目漱石の講義を受けました。病で帰郷し、静養していた瀬戸内海の小島・能美島を舞台にして書きあげた、短編『千鳥』が漱石に認められて、推賛の言葉とともに俳句雑誌『ホトギス』にのり、反響をよびました。三重吉、25歳の時でした。

三重吉は児童文学誌『赤い鳥』の創刊に際し「現在世間で行われている少年少女の読物や雑誌のほとんどは、その俗悪な表紙を見たばかりでも子どもに与える気にはなれない。こういう本や雑誌の内容は、あくまで功利とセンセーショナルな刺激と、へんな哀傷とにみちた下品なもので、その表現もはなはだ下卑ている。(中略)わたしたちは子どものためにすぐれた芸術的読物をつくってやらなければならない。そこでわたしは、森鷗外、泉鏡花、高浜虚子、徳田秋声、島崎藤村、北原白秋、小川未明・・・、有島生馬、芥川龍之介の諸氏をはじめ現代第一流の作家の賛同を得て、世間の小さな人たちのために、芸術として真価ある純麗な童話と童謡を創作する運動をおこしたため、月刊雑誌『赤い鳥』を主宰発行することとした」とうたっています。

鈴木三重吉の作品、また、『赤い鳥』にちなんで能美図書館で発行している『小鳥』も、合わせて展示しますので、ぜひ読んでみてください。

3月のふれあい広場

おべんとうづくり教室へようこそ！



おりがみをつかって、おべんとうを作ろう！

※実際のお料理ではありません。

予約を
してね。

3月17日(土) 午後1時30分～

能美図書館 2階研修室

対象：小学生以下（幼児は保護者同伴）

参加費：無料 ☆ 定員12名

4月のふれあい広場

予告

4月7日(土)

13:30～15:00

お花見茶会

能美図書館 2階ベランダ

桜の花をめでながら、一服いかがですか。

お誘いあわせてお越しください。

わたしのいちおし (110)



『ふうちゃんのそら』

中峠 房江/原案

よこみち けいこ/脚本・絵

呉かみしばいのつとひ/監修

人形劇あひる座代表・中峠房江さんご自身の戦争体験をもとに作られた、平和をたくす紙芝居。

戦争の怖さや悲惨さを表現するだけでなく「引継いでいくこと」「命をつないでいくこと」を子どもから大人まで伝えられる紙芝居。ぜひ一度読んでみてください。

3月の ミニ図書館

今月の運転手は
みかぼん！



| | | |
|----|-----------------|---------|
| 児童 | 『赤い鳥 1～6年生』 | 赤い鳥の会/編 |
| | 『がちょうのたんじょうび』 | 新美南吉/作 |
| | 『きつねとぶどう』 | 坪田譲治/原作 |
| | 『蜘蛛の糸』 | 芥川竜之介/作 |
| | 『ごんぎつね』 | 新美南吉/原作 |
| | 『てぶくろをかいに』 | 新美南吉/原作 |
| | 『のぼら』 | 小川未明/原作 |
| 一般 | 『山ねこホテル』 | 柴野民三/文 |
| | 『鈴木三重吉全集』 第1～5巻 | |
| | 『千鳥』 | 鈴木三重吉/著 |
| | 『小鳥の巣』 | 鈴木三重吉/作 |

～この他にも展示してあります～



『赤い鳥 1～6年生』

赤い鳥の会/編

小峰書店(新装学年別赤い鳥)

大正7年に創刊された児童文学雑誌『赤い鳥』から生まれた童話・童謡のなかから、小学生に読んで欲しい名作を厳選して収録。

ミニ展示「利休と茶道」

4月のお花見茶会に向けて、利休及び茶道に関する本を展示・貸出します。

わび茶を創造し、新しい人間社会の在り方を追求し続けた千利休は、おのれの美学だけで天下人・秀吉と対峙した人でもあります。

わび茶とは、茶の湯とは・・・。

『はじめての茶の湯』 北見宗幸/監修

『茶人のことば』 井口 海仙/著

『茶碗と茶室』 楽吉左衛門/著

『天下人の茶』 伊東潤/著

『利休にたずねよ』 山本兼一/著

ほか